

子どものうたと伴奏法 I

授業科目	子どものうたと伴奏法 I					実務家教員担当科目	-				
単位	1.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	山路 麻佳										
授業概要	<p>授業はグループに分かれて個別レッスンの形態で行う。</p> <p>1年次の「子どものためのピアノ I」（前期）の単位を未修得の学生、および「子どものためのピアノ II」（後期）の単位を未修得の学生については、上記2科目において設定している課題曲までの履修を目指し演奏技術を高める。</p> <p>また、既に上記2科目の単位を修得済みの学生については、さらに柔軟に保育の現場でピアノ演奏技能を応用できるよう、コードネームを用いた伴奏アレンジなど個人の進度に合わせて実践的に学ぶ。</p> <p>個別レッスンに加え、少人数による中間発表の場を経験することで実践力の向上を目指す。</p>										
授業形態	演習	授業方法		各自の進度に合わせて個別レッスンを行う							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>各自の進度や1年次のピアノ実技科目の履修および単位修得状況に合わせて個別に設定される課題曲を教材とし、さらにピアノを用いた歌の伴奏の技能を向上させることができる。</p> <p>各自の進度に合わせ、1年次の演習を踏まえてより演奏技能を高め、楽譜通りに適切なテンポで演奏することができる。</p>										
理想的レベル	各自の進度に合わせ、1年次の演習を踏まえてより演奏技能を高めるとともに、ピアノを用いた保育現場での音楽表現にふさわしい作品を選曲し、表現豊かな演奏をすることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験											
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）			50%								
レポート外の提出物											
その他			50%				課題に対する練習、授業への積極的な参加姿勢				
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH21331J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
提示される課題曲の練習に毎日取り組む										1	
授業計画											
第1回	<p>テーマ：オリエンテーション(全教員)</p> <p>授業概要について説明する</p> <p>各自の進度に合わせた個別レッスン1</p>										

	弾き歌い：「線路は続くよどこまでも」
第 2 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 2(全教員) 弾き歌い：「さよならのうた」「はをみがきましょう」
第 3 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 3(全教員) 弾き歌い「おべんとう」「めだかのがっこう」
第 4 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 4(全教員) 弾き歌い「とけいのうた」「かわいいかくれんぼ」
第 5 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 5(全教員) 弾き歌い「たき火」「もりのくまさん」
第 6 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 6(全教員) 弾き歌い「あわてんぼうのサンタクロース」 幼児さんびか「いのりのはなかご」
第 7 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 7(全教員) 幼児さんびか「Happy Birthday to You」「わたくしたちは」
第 8 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 8(全教員) 幼児さんびか「前奏曲」 教本 No.105
第 9 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 9(全教員) 弾き歌い「先生とおともだち」 自由曲 1 曲（ブルグミュラー）
第 10 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 10(全教員) 弾き歌い「お花がわらった」 自由曲 1 曲（ブルグミュラー）
第 11 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 11(全教員) 弾き歌い「海」 自由曲 1 曲（ブルグミュラー）
第 12 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 12(全教員) 弾き歌い「いもほりのうた」 自由曲 1 曲（ブルグミュラー）
第 13 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 13(全教員) 弾き歌い「まっかな秋」 自由曲 1 曲（ブルグミュラー）
第 14 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 14(全教員) 演奏発表に向けて課題曲のリハーサル
第 15 回	テーマ：課題曲の演奏発表と授業のまとめ(全教員)
テキスト	小林美実『こどものうた 100』チャイルド本社 『大学ピアノ教本』教育芸術社 キリスト教保育連盟『幼児さんびか』

<p>参考図書・教材 ／データベース・雑誌等の紹介</p>	<p>その他「マーチ」等のプリント（楽譜）を各自の進度に合わせて適宜配布する。</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>演奏課題については、その都度授業内でコメントを返します。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>事前に歌詞の内容や記号・用語の意味について理解しておき、1年次で習得したことを踏まえて、弾き歌いの演奏技能や実際に保育現場で活用できるピアノ伴奏の技術を身につけていけるように練習しましょう。1年次と同様に毎日の練習が大切です。必ず予習・復習の練習に取り組んだ上で授業に臨みましょう。</p> <p>また、歌いながら安定したピアノ演奏ができるように、しっかりと練習を積み重ねて下さい。歌詞で用いられている一つ一つの言葉の意味や季節感などもよく感じ取って、より表情豊かな演奏表現ができるように心がけて下さい。</p>